東郷村報

第98号

昭和34年1月15日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷所
電話64番

年頭に当りて

村長　黒木松美

明けましてお目出度う御座居ます。

多難を予想しました昭和三十四年も村民各位の絶大なる御支援と御協力により、兎角無事に送ることが出来ましてここに輝しい希望に満ちた昭和三十五年の新春を迎えましたことは村民の皆様と共に誠に慶びに堪へないところであり、又感激の極みであります。

新春を迎えるに当り昨年を静かに反省してみますと、三十四年は国際的にはフルシチョフ、ソ連首相の米国訪問による世界の雪解が予想せられ又宇宙ステーションの打上げによる人類の宇宙への飛躍が約束づけられた年だと思います。

国内に於きましては有史以来はじめてといわれる伊勢湾台風の襲来による大惨害の発生、炭鉱不況による失業者の続出を始めとし、安保改定をめぐる保守革新の対立抗争、国会デモ事件に関連し国会は遂に変則国会の混乱に陥り政界は動揺のまま越年する等、我が国としては決して安易な年ではなかつたと思うのでありますが、皇太子御結婚の年であり日本にとつては記念すべき年であつたと思うのであります。

さて本村に於きましては村議会議員の選挙を始め選挙の年といわれる程の数多くの選挙が執行されたにも拘らず何等事故の発生もなく極めて優秀なる成績で終了し又役場庁舎工事、大谷林道工事、中島頭首工々事、広瀬護岸工事等の着工、東郷農協再建貯蓄弐千万円の達成等々村政は漸次その歩みを続け実績を残しつつありますがこれ等は凡て村民各位の村政に対する深い理解と絶大なる協力による賜でありましてここに厚く感謝の意を捧ぐる次第で御座居ます。

特に昨年は例年のように台風の来襲がなく従つて農作物の被害も尠く本村としては最良の歳であつたと感謝申上げている次第です。申上ぐるまでもなく正月は毎年繰返されるものであつて昨年と何等切離されたものでなく又世の中が急に変つたり新しくなるのでもないのでありますが新年を迎えますと誰もが今年こそはと新しい希望と計画を持ちその実現に努力することを誓うものであります。

この希望と計画が少しでも多く実行の出来た年こそ始めてよい年であつたと言えるのではないかと思うのであります。

私は年頭に当り沢山な希望と計画を持つて之が実現について努力致したいと思つていますが先づ何をおいても村民経済の基礎をなす産業の振興について強力な推進を図る覚悟であります。

尚村政の方針としては全村民が公平に村政の恩恵に浴し得る施策の拡充、即ち公共施設の未施設、或は未開発の地域に対しては出来るだけ早急に出来るだけ多くの施設の実現に努めるよう更に一段の努力をなし層一層明るい村政の確立を期する所存であります。

昨今に於ける日本経済の方向は漸次好転の一途をたどりつつありますが然し農村経済の将来は決して明るいとは言えない現状でありましてここに今後に於ける農業経営の至難な問題があり又私共に課せられた大きい使命があると思うのであります。私共は農業発展の将来に如何なる困難がありましてもこれを突破しなければなりません。かくしてこそ昭和三十五年が初めて光輝ある年となることを確信するのであります。

私はここに村民の皆様の御健康と幸福を祈り村政発展と農協再建に村民各位の絶大なる御支援御協力を念願し皆様と共にこの一年を幸多かれと祈り年頭の挨拶と致します。

新春を迎えて

議長　新名岩喜

村民の皆様新年おめでとうございます。年頭にあたり本村の隆昌と各位の御繁栄を祈念いたします。回顧十余年さまざまの思出が走馬燈の綾なすよう感ぜられますが就中駆け去つた昭和三十四年の姿には一層の愛着を感じ、なつかしさを覚えます。

それは私個人の年令六十一才が永遠の彼方へ去つたはかなさではなく、すくなくも本村の希望に輝く新たな門出の年であつたことで、村長を始め議員の選挙が行われました。以来八ヵ月順調な歩みをつづけ、村政発展並に村民福祉の向上に努力がなされ効果も枚挙に暇もありません。勿論村民挙げての努力にまつところで慶賀に耐えません。

次に民主政治は議会に始まることに鑑み其の責任極めて重大であります。議員個々の一挙手、一投足に及ぼす影響重要でございますと共に地方自治向上の上にもたらす力、大なるものがあります。自律自戒し以つて御期待にそうことを念願いたし努力精進いたします。

議会は明るい村政、伸び行く村勢を将来益々期待いたしますが故に昨年中に村治百年の大計を企画し断行いたしました。即わち役場庁舎の改築であります。多年要望の宿題であり、御覧の通り終戦以来教育施設の一新を期し村内各学校の改増築、其他保険施設等の計画を遂行し、一応の完了をみましたので辛棒の極致と謂いましようか全く不便不自由、しかも危険庁舎の解消を放置すべきではありませんので財政上の一大踏みきりでございましたが、以上の諸点を考え当局の方針に協力することに決しました完成の暁には村民の財産として村民サービスの上に貢献することは必至であり、村政発展の基礎を成すものと信じます。

正しく百年の後に残すもので子孫への贈りものとして誇るに足ると存します。

次に議会は地方自治法の改正に伴い、その主旨を体し自らの能力を発揚し本分を尽さんがため、議会事務局を設け事務局長に木村映一氏を起用し目下努力中であります。年改まつて、心気一転は何人も同じでございましよう。時しきりに経済界の好況を伝え実に喜びにたえません。景気上昇の年と、うたいあげますことは又一面努力精励の年と覚悟せねばなりませんので各方面に活躍をお願い致します議会は与えられた権利の行使を完璧ならしめ、村政へ協力、基本問題の研討を期し経済教育産業交通の振興保険衛生の充実等十分の研究を行い、各々成果を期す次第であります。地方自治の理想は遠いと存じますが一歩の歩みに精魂を傾けつつ努力せんことを年頭にあたり申述べ御挨拶といたします。

新春に思うこと

県議　小野弘

清々しい大気の中に昭和三十五年の新春を迎えましたことは村民の皆さんと共に喜びにたえない処であります。

昨年は御承知のように各種の選挙が行われ中央地方を通じて政治、行政面の刷新が期せられました。県政にありましては執行者として新らしく黒木知事が議会には紅一点を交えた四十七名の新旧議員が登場して夫々の責任を負うことになりました。

執行機関としての知事議決機関としての議員、各々立場は異りますがその念願する処は所謂後進性の強いと云われる本県の汚名を払拭して、明朗な県政、県民の福祉を増進する県政を樹立することだと思います。

幸い昨年は幾度か台風襲来の危機に見舞われながら比較的大きな災害もなく過しましたことは喜ばしい限りで、このことが三十五年の飛躍的発展に大きな力となることでしよう。

私達はかかる天恵の下県民を代表する議会としての本分を尽し県民の福祉を図り県政進展に寄与せねばならぬと考えます。

時に月の世界に「月ロケット」を打ち込んだ人間の智のうは今年の中に宇宙に旅行が出来るようになるかも知れません。際限なく発展する人間の智のう、恐らく宇宙征服の夢も遠くはないでしよう、かかる智のうの所有者である人間が西と東、南と北に何故相争わねばならないのか。人間はう生存する限り永遠に斗争を続けなければならないものか宇宙への旅行征服の以前に「人間は何故争わねばならぬか」と云う課題を今年こそ真剣に考えて、自由と平和と繁栄が人類の頂上に輝くよう最大の努力をすべきではないかと思います。

迎春の詞

村議　畝原速美

新春を迎え大慶に存じます不肖議席を汚しこゝに初春、この年頭に当り今更の様に職責の重大さを痛感致します。微力乍年頭を機に本村振興に尽す覚悟を一段と新に致しました。村民各位総力に依り明るい村造りに邁進致しましよう。

岡富中校長　都甲鶴男

山川の美しく、住む村人も亦純情にして、わざによくはげむ。

産物豊かに、財を蔵む。

ああ誇りうる、わがふるさと。

ただのぞむらくは、進取の気象か。……村民の皆様の御多幸を御祈りいたします

村教育委員　杉田三郎

乳牛を養うと人間勤勉にならざるを得ない。朝夕の搾乳は年中動かせない仕事だし、飼料は計算して作り計算して与えねばならぬ。東郷村の農業に欠けたもの、それは計算する農業のないことではなかろうか、勤勉と云うことを考え直してみたい。

寺小校長　大田安夫

今年は三十五年、男なら一代の目鼻がつく年。又一九六〇年、六〇年は黄金みのりの年。日本的にも世界的にも意義ある年。

さて我は何をせん。やりたい事は山程ある。一歩々々をふみしめていこう。

村議　黒木利男

村民の皆様お目出とうございます。

本年は皆なで新しい農業の夢を描こう。東郷村には東郷村のとりえがあるはずだ皆なで夢を描きぐん〳〵押して見たらどんなものだろう。

東郷村産業の躍進の道も開けてくるのではないでしようか。

坪小校長　馬場一義

日進月歩

日に月に水位は高まる足をたてると頭が毀する無理して浮べば流される故に人はみな毎日伸ばなくては頭か足か取られ世の異端者となろう。

私は伸びたい。

山陰巡査部長　田中新吉

社会文化の進展に伴つて増加してゆくのが各種犯罪と交通事故であります。これらの災難は常に我等の隙をねらつていることを忘れてはなりません。そこでこの一年間は事件事故の絶滅に全力を注ぎたいと思います

村議　松浦義十

皇紀二千六百二十年の新春を幸多き各位と共に迎え心からお喜び申上ます。躍進途上に在る東郷村の施政の一翼に参画する光栄と責任は年改まると共に加重して増一層に各位の御支援こそ切なるものがあります。何卒旧年に倍し宜敷く。

草川小学校　山本信

世の中のあらゆるものがスピード化される時代になつても人間の生長丈はどんなに慌てても二十年以上たたないともになられない。その人間の生長を助ける教育の道に従がう教育者はやはりじつくり腰を落着けてやらねばなるまい。

越表小児童会長　高岡恭美

新しい校舎で昭和三十五年をむかえ、ぼくたちは、今年こそしつかりやろうと思います。今年は、ぜひ、理科の実験器具やテープレコーダーを備えて、みんなが楽しく勉強できるようにおとうさんおかあさんにお願いします。

坪中生徒会長　三浦猛夫

明けましておめでとうございます。

新年を迎えました今日、皆様も楽しみと喜びで胸が一ぱいのことと思います。今年も輝き出る初日のように清らかな年を送るようお願いします。　元旦

東小児童会長　永吉毅至

明けましておめでとうございます。去年のニュースは皇太子のご成婚、伊勢湾台風、よろこびやかなしみの年でした。新年をむかえた全校生徒はよろこびでいつぱいです。一生けん命勉強し、よい村よい学校にしたいと思つております。

村議　矢野通

明けましておめでとうございます。新しい三十五年度を迎え議員に選ばれて八ヵ月、村民の福祉と生活の安定に大なる希望と夢をえがいて居ります。御承知の如く本村は凡そ八〇%が山林に占られ従つて農業経営収入の約六〇%位は山林の仕事の収入で補なわれて居る状態であります。しかし最近化学の進歩に依り薪炭の値下り、原木の不足、更に山林は大資本家に売買され将来が思いやられます。又農業経営も新聞などで報道されて居ります様に唯今、まがりかどに直面して居り今後一大転機の必要に迫まられて居ると思います。国県の施策に従い村当局村民三者一体となり問題の解決に微力ささげたいと思います村民各位の御支援御協力方を願います。最後に村民の方々の御健康を御祈り致します。

越表小校長　渡辺元水

新春を迎えるに当り心から寿ぎ申し上げます。思えば先年は岩戸以来の好機の連続でありまして文化の進展も実に目まぐるしい物がありました、一日一日がゆるがせに出来ない一九六〇年本年も教育進展の為邁進したいと思います。

東中生徒会長　中村良作

新年を迎えるに当り、今年こそ更に努力をして、他の学校に劣らない学校を作り上げたいと思う。それには僕達何人かの生徒会役員ではむつかしいことであるから、全校生徒の力を合わせ日本一の良い学校に、東郷中をしてゆきたいものだ。

神門小校長　平田平三郎

独立の気力なき者は国を思うこと深切ならず。―福沢諭吉―あまりにも人に頼り人の力を自分の力として世上に押出している輩が多い自己陶酔して馬鹿騒ぎしている人間が居る間日本の国は明るくはなるまい。希望をもつて今年こそやろう。

越表中生徒会長　古賀勲

新年おめでとうございます昭和三十五年の新年を迎え我々全校生徒は喜びと希望で胸一ぱいです。今年はネズミの年だ。ネズミはこせこせする動物だが、我々中学生は、かげひなたなく、堂々と前進しよう。

甲斐善平

大隈重信の言葉に「五十六十は鼻垂れ小僧。自分は八十有四才にして朝に反省し夕に黙考して尚ほ日足らず」との言葉がある。実に立派な処世訓だと思う。自分の言行を反省し、今一段の躍進を希ふは人間最も大切な事である。私は今年丁度その鼻垂れ小僧の六十一才になつたのである。よくよく三思四考すべきだと考へている。

東小校長　工藤岩男

深刻な後悔反省のないところに、堅実な実践への意慾と計画が起らなかつたのだ。その上緊張努力に永続性のない私には生活を区切るに一年は長きに過ぎるようだ。年に四季あり。月にみカ月あり望月あり。日に昼夜の別もある。

坪谷陶山勲

本年は人から憎まれる鼠の年である。この鼠は獲物を得んとするには如何なる障害も根気強くかじつてその目的を達する。私も本年は憎まれ者の鼠をあやかつて世のため村のため障害も非難の声も耳をかさず献身的に努力して見たい。

福瀬小学校長　宮崎恒吉

「みんな過ぎ去つた。静かに新しい年を。」静かに自分をふり返つてみる。喜びも苦しみもみんなすぎ去つたが何かを残してくれた。それをかみしめて新しい年を迎え、そして頑張つてみたいと、私もそう思いました。

福瀬小児童会長　新名和子

明けましてお目出度うございます

今年こそは最良の年であります様に、そして昨年以上にがんばりたいと思います。

昭和三十五年元旦

村婦協長　塩月みどり

明けましてお目出度う御座います。一九六〇年の新春を迎えますに当り、今年は特に次の時代を背負ふ青少年の育成に努力致し度いと思います。村内のお母さん方、明るく健康な家庭を作られ愛情を持つて青少年の行動を見守つて頂き度いと存じます。

坪谷小児童会長　三浦睦夫

今年は、僕たちが小学校でむかえる最後の正月だ。安本末子の日記「にあんちゃん」を読んで、僕は強く心をうたれた。今年はにあんちゃん兄弟のように仲よく貧しさにもまけず、がんばろうと思います。

坪小PTA会長　寺原健

除夜の鐘を聞きながら一年間の足跡を辿れば余りにも月日の早いのに驚く、そして反省と希望と喜びで一九六〇年を迎えると共にPTAの使命の大なるを深くす、吾々は愈々自らの教養を高めよき子等の成長と人作りに努力したいと思う。

海野実門

木炭は原木の一石（〇、二八立方メートル）から約二俵とれて七百円、一方抗木やパルプ材も同じ一石で七百円以上している。即ち炭焼きは労賃、加工費が全然ムダな事になる。県で木炭の増産を品質向上に切替えたのは至当の事だ。そこで企業者は此の炭質の向上を目指し練磨研究に真剣に取組んで、村を興し国策に殉ずべきだ。

先進地視察報告書

村議会副議長　三浦治郎吉

私は第三回全国町村議会議長会出会のため上京の途次、長野県木島平村を視察いたしましたので、その概略を報告いたします。

木島平村は昭和二十九年八月二日付で、下高井郡上木島村同郡往郷村同郡穂高村三村が町村合併促進法による適正なる行政規模確立のため親和の精神に立脚して合併を断行し戸数一千五百五戸、人口八千四百人、山林面積八千二百町歩、耕地面積一千三十三町歩（田六百八十町、畑三百五十三町）を有している。木島平村の生産額は最高額は農産物で三億四百万円、林産物で五千万円、畜産で三千万円、工産物で五百万円である。田七百町歩、平均反収三石二斗最高反収は四石五斗を上廻ると云うことで土質も浄化され地力の増進に努力しているとのことである。畑は四百五十町で今年計画している主な事業は集団果樹園七十町歩にりんご、梨、桃等を植付けることにしている。尚百二十町歩の原野を開拓し、こうした園芸に切り替えるべく計画、田畑共麦作は大してなく降雪のため殆んど作付はないこうした計画によつて特産品の奨励をなし農家経済の効果を高揚しつつあることは、本村としても充分取り入れる事に関心を深めるべきであると意識した次第でした。

次に財政資金の主なる財源は、村税にて一千八百万円、使用料手数料合せて一千八百三十万円、この外地方交付税一千四百五十万円、国庫県支出金合せると才入合計四千四百万円であり才出面に於ては人件費、物件費合計約三千百万円、公債費五百五十万円、更にその外五百五十万円と災害その他緊急を要する事態に対応する財政計画を樹立する基金、積立金五十万円、計三千七百万円となり、なお投資的経費に充当する額四百万円、今後農業振興を主眼とする諸産業の充実を図り、生産所得の向上により、反面税収を増大し行政務事の合理化により経常費の節減を行い投資的経費に充当建設事業推進を図ることにしているとの事である。

山林面積は総面積の八十%を越え内七十一%が国有林であり、林業面は国有林に期待する処が大であり、私有林は二千三百三十五町歩村有林は二百九十六町歩であり戦時中の乱伐で疎悪林の状態であり、之が合理的植栽を推進し杉、唐松、桐等八万本乃至十万本程度を村有林の完全植林を行い百年の大計を図ろうとしているとのことである。椎茸原木も相当見受けるが天候の関係か生産は至つて低調であり、今後研究して生産に努力したいとのことである。エノ木茸ナメコ等の生産は相当やつている模様であるが、こうした特殊木の茸は大きな期待は持たれないとの説明でありました。

次に畜産行政については現在家畜は乳牛二百六十五頭、役牛三百五頭、馬五十頭、緬羊五百六十頭、山羊二百四十四頭、鶏九千羽であり有畜農家創設法に基き又農協融資によつて年次増加の一途を辿り無家畜農家の解消に当り飼料の自給化を図るため専用畑を設置し山麓開発果樹園地の牧草化を図り更に畦畔草の改良も実施して今後の有畜化を推進することに計画しているとのことであります。

主要農機具は石油発動機二百三十四台、電動機百八十台、動力脱穀機三八五台、動力防除機十七台、揚水機四十五ヵ所、動力耕耘機三台となつており養蚕業に於ては春蚕繭生産量三千五百貫、夏蚕一千五百貫、秋蚕一千七百貫、養蚕戸数五百戸程度とのことであり多種式な営農方法であることが伺われた。

その外詳細な事項もありますが、省略致しまして木島平村の財政面と農業経営を集約致しますと、純農村として地形的には避地地帯の感もありますが、総ゆる生産面から所得があり赤字財政ではなく、健全なもので農業経営も総ゆる面に計画を樹て、その計画が完成され殆んど農業一本化で生産の安定が図られている進歩した大々的な酪農計画もしてあり乳牛四百頭以上に達する迄に導入するとのことであり、如何にその計画に関心を深めているかは、大きな指導と経済力が併行しているものと思われる次第でありました。

議会報告

東郷村議会臨時会は十二月二十一日午前十時村議会議場に招集され会期一日間で次の事件について審査し一件委員会付託の外原案の通り可決確定された。

○議案第六十号
東郷村危険物取締条例を廃止する条例の制定について
消防法の一部を改正する法律の施行に伴い従来村長の所管事務であつた危険物の取締が知事の所管事務に改正されたので、この条例を制定することに原案の通り可決確定された。

○議案第六十一号
村有財産と日本専売公社有財産の交換について
さきに村有財産として取得売公社葉たばこ取扱所と本村が高鍋町に所有する財産（宅地、家屋）と交換することについて原案の通り可決確定した。

○議案第六十二号
役場庁舎新築工事の契約について
本村役場新築工事については十二月八日競争入札の結果各工事区分毎の工事請負業者が決定したので、この契約締結について原案の通り同意議決した。

○議案第六十三号
中島頭首工災害復旧工事の契約について
昭和三十二年災害中島頭首工復旧工事については十二月十二日競争入札の結果工事請負業者が決定したのでこの契約締結について原案の通り同意議決した。

○議案第六十四号
村有財産の取得について
大字山陰字太田乙二、五五四番の二山林一反九畝二十歩並びに役場庁舎敷地として大字山陰字又江野丙一、三七五番の四外四筆六十二坪を村有財産として取得することについて原案の通り可決確定した。

○議案第六十五号
部分林設定契約について
区その他公共団体との部分林設定に関する条例の規定により仲深区（代表者仲深区長三浦旭）との間に部分林設定契約を締結する議案であるが慎重審議の必要があるため山林部委員会に審査を付託することに決定した。

○陳情
1、坪谷通学生バス車庫建築に対する村費助成方陳情
坪谷区長より提出された本陳情については審議の結果陳情の通り採択した。
2、小野田滝下間渡河舟新設について応分の村費助成方陳情について
小野田区長外代表者より提出された本陳情については審議の結果陳情の通り採択した。
3、揚水施設設置について応分の村費助成方陳情について
又江野揚水利用組合長より提出された本陳情については審議の結果陳情の通り採択した。
4、大工野白浜間渡舟新設について応分の村費助成方陳情について
鶴之内区長外代表者より提出された本陳情については審議の結果陳情の通り採択した。

住よい世の中に

坪谷陶山勲

お互が住みよい世の中にするにはどんなにしたらよいだろうかと毎日のように考えている一人である。出来もしないことを考えて何をすると思われる人もあるかも知れぬ。屁のようなことを考えているから白髪になるんだと思つている人があるかも知れぬ。然しよくよく考えて見ると、此の世に生を受けて無限に生きているものはない。

昔は人生僅に五十年といつたが、現在は医薬等の進歩によつて、七十近くまで生存しているとは謂うものの、これ等を考えて見ても、吾等が何時までも幸福な生活をこい願つても、長は生きないのである。昔は何所も人口が少かつた、百姓も一戸当りの反別も広かつた。又出費も少かつた。然るに現在に於ては人口も増加し、一戸当りの反別も、東郷村では七反位で農家人口一人当りは、一反二畝位である。その上出費も多くなつた。毎日現金なしでは生活が出来ないという有様である。

私共の幸福な生活、住よい世の中にしようと思えば、各自の生活が有福になるようにしなければならぬ。食糧があると共に現金がなければならぬと思う。百姓は食糧はお手のものであるが、現金ということになるとそう簡単には行かぬ。供出しての現金か、又は副業しての現金でなければならぬ。以上考えた時に、耕作反別の多い人は供出も多いので現金も多いが、耕地の少い人は供出の現金に依存することも出来ない。その時に副業、特に山村では山に依存する外に途がない、然し現在においては木炭を焼きそうな山も近くには残り少くなつた。遠い山地に出稼する以外に途はない。出稼ということになるとカマドを二つもたてることになるので出費が増す。

おまけに耕地の方は女、子供ということになつて増収どころか、よくて平年作、一歩手入が届かなかつたら減収ということになる。そうなつて来ると出稼もよし悪しである。

然らばどうしたらよいか、仲々六ヵ敷いことであるが、こんな事はどんなものだろうか。恒久作物の経営か、又は毎年の生産を計画的に行つて行くかではないだろうか。恒久作物については何が適地であるか、又他の生産にしても販路はどうかをよく研究し、適地果樹等が決定したら、組合を作るか農協を通して出荷するかを充分見当をたてることだと思う。

又毎年の生産計画の方では園芸でも、畜牛でも、養豚でもよかろうかと思う。充分計画を樹立して、家畜類であつたら、市場まで発展するよう計画をたてるべきではなかろうか。又一家に於ては、家計の実態をつかむため家計簿をつけ、一家の収入を明確にして計画的な予算生活をし、黒字の出るような生活を研究することだと思う。

明るい一家は、どうしても生活にゆとりがあるように、計画的な生活をすることではなかろうか。明るい一家が集まると、明るい部落が集落が出来、明るい部落が集まると明るい村となり明るい住よい世の中になるのではないだろうか。然しより以上の明るい住よい世の中にするには、その上に皆の人が人間としての勉強をすることだと思う。

人間が人間らしい立派な気持を得るには、常に良識を養うことである。これにはお互が読書をしたり、話し合つたり、有識者の話等を聞いたりして、お互が共々に研鑽をすることではなかろうか。皆さん如何でしょう。

新春詠

坪中志垣澄幸

常にみる山にはあれど元朝の尾鈴嶺すがし尊びて眺つ
尾鈴嶺の裾野ながくて豊かなる年たつ峡の明けの静けさ
朝もやの深くかかれる細溪に高く釣られしくろき大橋〈天神橋〉
気にかけていたる無沙汰を賀状にて済ませし日より心おちつく
今年また楽しく生徒等と過したし生徒等の賀状を見つつ思えり
年たちて道の埃りも今朝はなく行手に老杉の林みえくる
掛樋よりそそげる水の音のする貯水池に新春の陽は照りながら

農協だより

農家更正資金貸出事務取扱について

此の度農協では多額な負債を有する組合員であつて積極的にその経済の再建を図ろうとするものに対し更正計画を樹立せしめその負債の整理を促進する事を目的とし農家経済の安定を図る為に左記に依り貸出事務の取扱をする事にしたので希望者は早急に申出下さる様御知らせします。

記

一、対象組合員
農業経営が堅実であり之の資金を貸出することに依り農家経済の安定がきせられ今後も一段と各種事業面に於て協力の出来る者
二、資金使途
固定負債を整理するに必要な資金
三、更正計画
別に定める様式に依り更正計画を樹立せしめる。
四、貸出形式
証書貸出とする。
五、償還期限
原則として五年以内
六、貸出利率
年一割二分以内
七、保証及担保
㋑二名以上の連帯保証人を徴する
㋺原則として不動産の担保を徴する

だるま特別定期貯金抽せん会の結果について御知らせ

説明会日時及場所
一月十八日
小野田公民館　午後一時

謹しみて新年のお慶びを申上げます。

昭和三十四年度は本組合再建特別定期貯金の達成と各種事業に格段の御協力御援助を賜り厚く御礼申上げます。

さて昨年十一月より運動を展開いたしました、だるま特別定期貯金については各区長さんを始め生産組合長さん並に組合員各位の特別なる御協力に預り目標額一千万円を突破する一千七十七万八千円の実績を納めることができ去る十二月二十九日午後一時より村議場に於て県信連並に各関係機関の御臨席をいただき厳正なる抽せんの結果次の通り当選番号が決定いたしました当選された方に対しては一月二十日より賞金の支払をいたしますので定期貯金証書と印鑑を持つて受領して下さい。

だるま特別定期貯金当選番号

特級	割増金	桁	当選番号
特等	5.000円	全桁	10344
1等	1.000円	下三桁	865
2等	400円	〃	990　231
3等	100円	〃	782　917　111
4等	50円	下二桁	86　83　99　95　92

上記割増金の他に全部に55円の利息がつきます

農協貯金のクイズ当選者お知らせ

農協貯金の残高は十二月三十一日現在でいくらになるでしようのクイズを村文化祭農協展示室に於て十二月五日、六日の二日間組合員の皆さんから募集致しましたが農協貯金の残高は五千四百四十二万一千六百八十三円になりました。一月五日午後一時より農協事務所に於て村教育委員会の立会いで厳正に開票致しました結果、投票総数は二百四十三名に上りましたが、正解者がありませんでしたので此の数字に最も近い投票をされました次の五名の方々にそれ〴〵賞品を贈ることに決定しましたのでお知らせ致します。

一等　迫之内（地内）黒木さかえさん
二等　鶴之内　松原新一郎さん
三等　鶴之内　寺田　泉さん
四等　田野　谷口千穂子さん
五等　羽坂　小野ひできさん

文芸

給食

寺迫小三　佐藤　孝

土曜日ぼくたちはぜんざいがわたるのを、たのしみに待ちました。ぜんざいがくると「わあ！わあ！」とみんなが大声でさわぎました。日曜がすんで月曜日です。はじめておいしい給食がわたりました。みんなたのしそうです。でもじゆんじ君やさちお君はミルクをのこしました。のこさないようにしたらぐんぐんからだがふとるのにと思います。ぼくはべんとうより給食の方が大すきです。おかあさんもパンがすきだといいます。ぼくがちつともつてかえつてやるとにこにこして食べます。給食のはみそしゆるもおいしく、にくじゆるやチャンポンは大すきです。

点滴

★あけましておめでとうございます。旧年中は何かと御指導いただきありがとうございました。本年も旧に倍して御指導御鞭撻の程お願いいたします。

★本村が新正月一本化運動を展開して三年目になりますが、今年は一部の部落を除いてほとんど新正月に切替えられ、日の丸の国旗のはためく新春の空の下でバレーボール大会が開かれたことなど健康で清潔な頌春風景として同慶にたえません。

★十二支によりますと今年は「子年」です。古くから「子」に「ネズミ」を配しています。

鼠は大黒天の使者として愛された時代もありますが、野鼠、どぶ鼠、家鼠など穀類その他に及ぼす被害、或は伝染病の媒介や、集団中毒の原因など、その害毒は計り知れないものがありますので昨年は県下大々的の鼠駆除が行われたが今年も引きつづいて行わないとまた「鼠算」でもとどおりになることは必定。大山鳴動して鼠一匹にならぬよう心して本年も鼠の駆除につとめましよう。

★恒例の消防出初式が行われました。寒風をついての整然たる偉容、わが伝統に生きる唯一の団体、信頼と感激でいつぱいの胸裏から益々自重自愛村民の興望に応えていただきたいの念も禁じ得ません。

鶏鳴いて鎮守の森明けんとす。

ポンプ百より
火の用心
用心一つ